

令和5年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(鈴田地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
1	①しあわせ循環コミュニティ ②新庁舎建設	①アプリの操作がよくわからないが、それでも大丈夫か。 ②森園公園はできる限り広く残してほしい。	①アプリの使用に慣れていない方には、アプリをダウンロードする際のお手伝いとして、市役所などで支援するように考えており、沢山の方にアプリを活用していただけるように取り組んでまいります。 ②新しい市民プールの規模等はまだはっきりと決まっていません。今回のご意見も踏まえて庁内でしっかり検討していきます。	①企画政策部長 ②総務部長	①デジタル推進課 ②総務課新庁舎整備室	①企画政策部長回答のとおり ②総務部長回答のとおり
2	家庭用指定レジごみ袋の導入実証事業	今回の家庭用指定レジごみ袋の導入実証事業について疑問がある。	店舗で購入したレジ袋を、排出用ごみ袋として使用できれば、これまで店舗で購入していたレジ袋分のごみの削減につながるという目的で、今回実証実験を行います。	市民環境部長	環境センター	市民環境部長回答のとおり
3	家庭用指定レジごみ袋の導入実証事業	このレジごみ袋に入る大きさのものはいいが、これより大きい家庭用のゴミ袋を必要とする世帯では意味がないと懸念する。	今回のレジごみ袋は既存の特小サイズのゴミ袋と同じサイズで、単身世帯などレジ袋をよく購入する方々に使用していただき、レジ袋を1枚でも2枚でも減らすことを目的とした導入実証事業です。	市民環境部長 市長	環境センター	市民環境部長回答のとおり
4	道路の安全について	峠のところがすごく混雑しており、三浦方面に行く車の交通量が多く、お年寄りの方が道路を渡ろうとするけどなかなか渡れないため、警察署に横断歩道の設置について働きかけているところであるが、終日バイクの騒音もすごいので、直線道路部分で速度を落とすような規制など何か方法がないか。	現状の確認をさせていただきます。 また、スピードの制限に関することは、警察に相談をする必要がありますが、まずは現場を確認し、状況把握をさせていただきます。	総務部長	安全対策課	現在、大村警察署から長崎県警本部に横断歩道を設置するよう上申し、検討していただいているところです。横断歩道の設置が困難な場合は、減速を促す道路標示ができないか、県央振興局に検討していただくようにしています。
5	鈴田地区の大型公共工事等について	①新幹線トンネル出口の騒音問題について、今後の対応はどうか。 ②市道惣原白鳥線の仮設道路に利用している新幹線工事跡地の問題(農地復旧)について、鉄道運輸機構からは令和5年度末までに完了の回答を得ていますが、確実な履行の働きかけをお願いします。 ③陰平町惣原地区の歩道工事(JRの下越し)について、地権者の要望を良く聞いていただくようお願いいたします。	①鈴田地区のトンネル出口付近で騒音調査を行った家屋は4件とお聞きしています。環境基準(70db)を超えている家屋は窓の改良(サッシの取り替えなど)やエアコンの設置(取替え)など防音工事に要する費用を鉄道運輸機構が対応します。引き続き鉄道運輸機構に対し、騒音対策を要請していきます。 ②鉄道運輸機構からは、高架下整備と農道付替工事の関係者との協議終了後、工事に着手し、令和5年度末に仮設道路を含めて撤去して、農地の復旧を完了する報告を受けています。今後も着実に解決するために、鉄道運輸機構と協議してまいります。 ③惣原踏切については、現在、国の補助事業を用い歩道の詳細な設計を行っております。設計が完了したら地権者に説明し要望等については十分お聞きし、協議を進めてまいります。	都市整備部長	①～③ 新幹線まちづくり課	①～③ 都市整備部長回答のとおり
5	鈴田地区の大型公共工事等について	④国道34号、陰平交差点から鈴田川に通じる市道惣原白鳥線道路改良事業の早期完成について ⑤国道34号から小川内町に通じる市道平ノ前丸尾線の道路改良事業の早期完成について ⑥鈴田小学校の通学路(鈴田地区)の、国道34号線の迂回路化について	④市道惣原白鳥線につきましては、通学路の安全確保のため、市道改良工事と新幹線工事が混在しないように新幹線事業の仮設構造物の撤去が完了した後に着手するように計画しております。 そのため、現時点では来年度から工事に着手し、令和8年度末の完成を目標に事業を進めるよう考えております。 ⑤市道平ノ前丸尾線につきましては、昨年度から測量設計に着手いたしておりますが、鈴田川に架かる平ノ前橋の設計に時間を要しており、9月頃に設計を完了する予定としております。 また、平ノ前橋の架替工事に伴う迂回路整備など新たな課題に対しても、関係者と十分に協議して令和9年度末の完成を目標に事業を進めてまいります。 2路線とも本格的な工事着手時期を、新幹線工事の仮設施設が撤去された後に計画しておりますので、鉄道運輸機構と十分に工程確認し着手時期を判断してまいります。 また、着手後も早期完成を目指して事業を進めてまいります。 ⑥鈴田小学校区の通学路の安全対策につきましては、令和5年3月23日と4月20日に鈴田地区町内会と市において、協議を行ったところでございます。 地元との協議のなかで、ハンプは、道路の一部を隆起させ、通過する車両に上下の振動を及ぼすことで、運転者に減速を促す物理的手法ではありますが、一方で騒音や振動も懸念されるとの意見もあり、ハンプや狭さく等の設置については、引き続き、地元の皆様と検討を行うこととしております。 なお、鈴田小学校区の通学路の安全対策として、市では、市道岩松白鳥線の一部区間において、路側帯のカラー舗装化を令和3年度から行っており、引き続き、今年度も実施する予定にしております。	都市整備部長	④⑤⑥道路整備課	都市整備部長回答のとおり

令和5年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(鈴田地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
5	鈴田地区の大型公共工事等について	<p>⑦国道34号大村諫早拡幅工事については、今も多くの問題点があります。協力は惜しみませんが、今後も今まで同様に国交省への働きかけと地元関係者・地権者の要望をよく聞かれるように再度お願いいたします。</p> <p>⑧陰平地区の大型砂防ダム工事の用地測量が開始されておりますが、今まで同様に地権者の要望を良く聞かれるようにお願いします。</p> <p>⑨消防団の更なる安全確保、処遇問題、団員募集等について</p>	<p>⑦国道34号大村諫早拡幅(与崎～本野間)については、平成30年度に新規事業化されております。これまで国において、設計や測量などを実施され、説明会なども開催されております。現在、地元より提出された要望事項(43項目)に関して、地元、国、市の三者で協議を行っている状況でございます。また、これから事業が本格的に進むことから、昨年5月に大村、諫早の両市で「国道34号大村諫早拡幅推進支援本部」を設置しております。市としましても、引き続き、地元の皆様にとって、より良い道路となるように、地元と一緒に取り組んでまいります。</p> <p>⑧陰平町の浦ノ川内川の砂防ダムにつきましては、県央振興局河港課において事業が進められております。今年度から用地測量を開始されており、早ければ令和6年度から用地交渉に入ると聞いております。工事施工前には地権者との意見交換を密に行っていただくよう県に伝えます。(令和10年度完成予定)</p> <p>⑨消防団については、安全確保について消防団と協議しながら予算化して対応してまいります。団員の処遇についてはシーハットやプール使用料の減免を行っております。団員募集については市役所正面に横断幕を掲げており、ホームページ等での周知も図ってまいります。</p>	<p>⑦⑧都市整備部長 ⑨総務部長</p>	<p>⑦都市計画課 ⑧河川公園課 ⑨安全対策課</p>	<p>⑦都市整備部長回答のとおり ⑧都市整備部長回答のとおり ⑨総務部長回答のとおり</p>
6	新幹線工事用道路の撤去による農地復旧について	<p>新幹線工事用仮設道路に提供している農地は、新幹線開業等の延長により、農地の借用期間延長が繰り返されているが、耕作できない期間が長期に渡り、雑草の繁茂、イノシシ被害を受け、肥沃な土壌が劣化しており、また、耕作ができない期間が長くなると耕作意欲の低下につながるため、土地の貸借において、必要なくなった新幹線工事用仮設道路は、まずは撤去し、農地復旧後に市道拡幅工事に着手していくことが順序と考える。地権者とも十分協議して了解の上で進めていくことをお願いしたい。</p>	<p>市道平ノ前丸尾線改良事業に伴い、借地期間の延長をお願いする地権者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたします。現在、新幹線工事用仮設道路として新幹線事業の施工会社が借地している敷地につきましては、その一部を平ノ前橋の拡幅架替工事中の市道迂回路として利用を考えております。ご意見いただきましたように、できるかぎり農地復旧が進むよう、市道迂回路をコンパクトに整備し必要な範囲のみを借地するように、地権者様と十分に協議してまいります。</p>	<p>都市整備部長</p>	<p>道路整備課</p>	<p>都市整備部長回答のとおり</p>
7	野良猫の対策について	<p>「アニマルポートながさき」が大村市に建設予定となったことで、今後は子どもたちに生きた教育の場として、子どもたちがそこで学ぶことができる施設になることを要望する。また、地域猫活動に取り組んでいるが、その取組状況や内容を地域住民に周知するため市のホームページなどでPRを行っていただけないか。</p>	<p>①県が今後建設を進めていくが、大村市としてどのように教育につなげていくかこれから県と協議していきます。地域猫活動を進めていくためには、地域に理解していただくことを地道に丁寧にはやらないと進まないため、活動への理解を広げていくことを、しっかり市内地域の皆さんに広報し、一つでも二つでもそのような地域が広がるように、進めていきます。今後どう広げるか、その手法などについては、ご意見いただきながら進めていきたいと思っております。</p> <p>②学校で以前は行っていたニワトリの飼育ができない状況もあり、猫の愛護活動を通して、命の教育として各学校を回っていただいております。今後も命の教育についてご協力をお願いします。</p>	<p>①市長 ②教育長</p>	<p>①学校教育課 ②学校教育課</p>	<p>①市長回答のとおり ②教育長回答のとおり</p>
8	針尾地区から県道大村・貝津線の三鈴大橋合流交差点の交通について	<p>針尾地区から県道大村・貝津線の三鈴大橋合流交差点は、朝夕の通勤時には通行量も多く、含流に時間を要し、接触事故の発生が心配である。交差点に信号機設置、速度規制、交差点強調表示など、針尾側からの合流をスムーズにできないか検討願いたい。</p>	<p>三鈴大橋合流交差点については、7月14日に警察署、県央振興局、大村市の3者で、現地立会を実施し、信号機設置、交差点強調表示、交差点ありなどの路面標示での対応ができないか現在検討を行っております。</p>	<p>都市整備部長</p>	<p>道路整備課</p>	<p>都市整備部長回答のとおり</p>
9	①農業集落排水事業について ②ボートレース大村について	<p>①農業集落排水について、公共下水に接続するのは何年度からになるか。その後、農業集落排水の跡地についてどのような活用を計画しているか。</p> <p>②ボートレース大村はボートレース発祥の地ですが、功労者である坪内八郎先生の銅像を建てないか。</p>	<p>①この処理場(上鈴田浄化センター)について計画では、令和6年から7年にかけて公共下水道として接続し、処理場は廃止をすることになります。公共下水道に繋がることで、皆さんの家に一切影響なく、最終的な処理を、空港近くの処理場(大村浄水管理センター)で、一元処理という形になります。そして今の処理場をどうするかというはまだ決まっておりません。農業集落排水は補助金で設置しており、今後どう活用するかは補助の条件、廃止する条件をクリアしたうえで、どう活用していくか、活用にあたっては地元の方のご意見を伺いながら、今後検討していきます。</p> <p>②昨年開設70周年の節目に、当時は振り返るVTRを作成し、Youtubeで視聴ができるようにしています。併せて、70年史の冊子も作成し、坪内様はじめ先人達のご功績を紹介しています。また、坪内様については、ボートレース大村の功労者として、ボートレース大村の施設内の発祥地記念館において、写真やその功績を詳しく紹介し、顕彰しています。銅像の建設は難しいですが、今後も展示物の充実を図るなど、顕彰を進めていきたいと考えていきます。</p>	<p>①上下水道事業管理者 ②市長、ボートレース企業局管理者</p>	<p>①下水道工務課 ②ボートレース企業局</p>	<p>①上下水道事業管理者回答のとおり ②市長、ボートレース企業局管理者回答のとおり</p>

令和5年度地区別ミーティング回答事項の対応方針調書(鈴田地区)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
10	陸上競技場の改修について	陸上競技場について、本当に公式記録がとれるようになるのか。改修の間、市民の憩いの場である陸上競技場がなくなるのでその間はどうかというのを計画的にされているのか。	公認競技場として整備を進めています。今年度、基本計画を策定して、来年度に実施計画、令和7年度以降に工事に着工するよう考えています。使用されている大村市陸上競技協会や様々な団体から一日も早い整備をという要望をきいております。なお、改修中の陸上競技場の代替施設については、検討中です。	市民環境部長	スポーツ振興課	市民環境部長回答のとおり
11	新庁舎整備について	新庁舎駐車場について、十分に駐車台数を確保してほしい。	駐車場については、必要な面積をしっかりと確保できるように取り組んでいきます。	総務部長	総務課新庁舎整備室	総務部長回答のとおり
12	地域げんき交付金について	地域げんき交付金(以下「交付金」という。)について、鈴田地区では交付額が平成28年度までは328万円であったが事業の見直しにより、平成29年度からは123万円減額されて「205万円」になった。交付金は、地域にとってなくてはならない必要なものであるため、再度増額の見直しを含めた、今後の交付金の取組についてお尋ねします。	大村市地域げんき交付金につきましては、令和5年度から令和7年度まで継続して実施することとしております。 この交付金は、地域コミュニティが希薄化する中、地域の取組を通して、住民間のつながり、絆を深めるなど、それぞれの地域に合わせた課題に取り組まれており、地域活性化に十分役立っているものと考えております。 また、この交付金を非常に大事に活用されていることも、十分に理解しております。 今後につきましては、今年度の実施状況を踏まえ、町内会など地域や実施団体の方々のご意見を伺いながら、交付金の額も含めて検討し、引き続き継続して実施していきたいと考えています。	市民環境部長	地域げんき課	市民環境部長回答のとおり
13	映画館の設置等について	大村のイオンに映画館の誘致が出来ないか。 また、市の施設で開催している映画観賞会における開催の趣旨及び実績についてお尋ねします。	映画館の設置については、以前より広い世代の市民の方々からお声をいただいているところですが、商業施設(娯楽施設)であるため、地方公共団体による設置は難しい状況です。 このため、大村市では公共施設などを活用して、市や民間団体などにより上映会を開催しております。 なお、お尋ねのあつております映画鑑賞会につきましては、芸術・文化に触れる機会を創出することにより、市民の方々の生活の質の向上を目的として実施しており、上映実績は以下のとおりです。 〈令和元年度〉 8月4日(日) 493人(シーハットおおむら さくらホール) ※2回上映 〈令和2年度〉 1月25日(土) 301人(シーハットおおむら さくらホール) ※2回上映 11月1日(日) 212人( " ) ※2回上映 〈令和3年度〉 3月28日(日) 93人(シーハットおおむら さくらホール) ※2回上映 7月22日(木・祝) 127人( " ) ※2回上映 〈令和4年度〉 4月3日(日) 52人(プラザおおむら ホール) 4月23日(土) 180人(シーハットおおむら さくらホール) ※2回上映 7月2日(土) 171人( " ) ※2回上映 9月25日(日) 53人(プラザおおむら ホール) 〈令和5年度〉 1月29日(日) 289人(シーハット大村 さくらホール) ※2回上映 5月13日(土) 121人(プラザおおむら ホール) 5月27日(土) 336人(シーハットおおむら さくらホール) ※2回上映	産業振興部長	商工振興課	産業振興部長回答のとおり
14	①ふるさと納税について ②国道34号線の拡幅工事について	①市へのふるさと納税額が他市と比べて上がっていないが、市はふるさと納税額が上がる取り組みは行っていないのか。 ②他市に比べて、国道34号線の工事が進んでいないが、その原因についてお尋ねします。	①大村市も制度が始まってからふるさと納税にはずっと取り組んでおります。今から7年前ぐらいに最高額7億6千万ぐらい。今他の自治体で20億、30億とか上がっているのにここ数年は3億円前後です。今年度パンフレット、写真、広報、PR、周知等一括して民間に委託をと考えており、もうまもなく民間事業者が決定します。民間の力を使って市と連携して、他市の事例のように金額が上がるよう取り組んでいきます。 ②平成30年度に新規事業化したが、用地測量、設計、用地買収が完了していないと工事が実施できません。長崎市などの他市の工事が進んでいる要因は用地買収まで終わり、工事できる状態になっているから工事予算がつけば工事が進んでいくこととなります。	①②市長	①観光振興課ふるさと物産室 ②都市計画課	①市長答弁のとおり ②市長回答のとおり